



## 輝ける多種多様なフィールド

本学の薬学部を卒業した後の進路は、非常に多岐に渡ります。薬剤師として医療分野で活躍することはもちろん、くすりのプロフェッショナルとして企業や官公庁で働く選択肢、さらに専門性を高めるために大学院への進学も視野に入ってくるでしょう。6年の学びの中で、自分の適性を見極め、あなたらしい道に進んでください。



### 01 医療機関

薬剤師として病院や保険調剤薬局等に勤務します。医師や看護師と連携し、くすりの専門家としてチーム医療の一員となります。ときに治療方針の立案などにも関わり、常に患者と向き合っていく仕事です。



### 02 医療関連企業

製薬会社や試験関連企業(CRO-SMO)、卸等の医療関連企業への就職です。薬剤師に対する期待は近年高まり続けており、新薬の研究や開発、製造、医療現場への情報提供まで、実に幅広い現場で活躍できます。



### 03 官公庁

公務員試験に合格した後、国および地方自治体で働きます。環境衛生評価や食品安全検査といった行政に近い仕事から、病院・研究所での調剤や薬学研究など、勤務先によって業務は異なります。

#### OB&OG VOICE 医療現場で活躍する先輩



楠神 枝里香さん  
愛知県・私立金城学院高校出身  
所属/愛知県立あいち小児保健医療センター

専門知識はもちろん、コミュニケーションも得意な薬のプロになる。

卒業後は愛知県庁に入り、保健所で公衆衛生業務に携わっていました。しかし、臨床薬剤師として働きたい思いが募り、今の職場に転向を希望。現在は、調剤業務をはじめ、保護者や患者さんへの服薬指導を行っています。患者さんの多くは小さな子ども、薬の服用指導にも伝え方の工夫が必要のため、普段から医師との連携も欠かせません。大学時代、いろいろな人と一緒に学び、思考錯誤した経験が、今求められるコミュニケーション能力につながっていると感じています。



山田 一貴さん  
愛知県・私立愛知高校出身  
所属/武田薬品工業株式会社

命に関わる薬を扱う、その責任に応えるために信頼を積み重ねていく。

医薬情報担当者(MR)として、医薬品を安全かつ適正に使用するための情報を医療関係者に提供しています。MRは、人々の命に関わるという責任感が伴う仕事。医師など医療関係者からの情報やニーズに対して、科学的根拠に基づいて誠実に対応することが必要です。そうした情報活動を地道に続けることで、第一線からの信頼を得られます。日々の業務に、6年間で学んだ数多くの知識が活かしていることを実感しています。

#### 卒業後の進路 (過去3年/一部抜粋)

##### ■病院

- 愛知県農業協同組合連合会
- 医療法人徳洲会  
名古屋徳洲会総合病院
- 公益社団法人日本海員救済会  
名古屋救済会病院
- 国立大学法人浜松医科大学  
医学部附属病院
- 社会医療法人杏林会—西宮病院
- 中部ろうさい病院
- 独立行政法人国立病院機構  
東海北陸グループ
- 独立行政法人三重県立  
総合医療センター

- 名古屋市立大学病院
- 藤田医科大学病院

##### ■メーカー等

- あすか製薬
- アステラス製薬
- 杏林製薬
- 興和
- シミック
- 日本新薬
- ノボル・ドリスクファーマ

##### ■保険調剤薬局

- アインホールディングス
- I&H

- クオール薬局
- 総合メディカル

- たんぼ製薬局
- 日本調剤
- 名北調剤

##### ■ドラッグストア

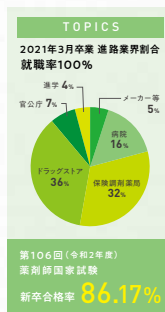
- イオンリテール
- ウェルシア薬局
- ココカラファイン
- スギ薬局
- スギヤマ薬品
- 中部薬品
- マツモトキヨシ
- ユタカファーマシー

##### ■官公庁

- 防衛省自衛隊(薬剤官)
- 愛知県
- 岐阜県
- 岡崎市
- 名古屋市

##### ■進学

- 愛知学院大学大学院



薬を究める、  
仲間と繋がる、  
国境を越えていく。



TO STUDY  
CONNECT  
GO OVER



# 薬剤師としての実践力を身につけ、 将来の可能性を育む学びを、あなたに。

充実した設備と講義を通して薬学を「究める」。多職種連携教育で異なる専門領域の仲間と「繋がる」。  
海外の先端医療に触れることで国境をも「越える」。本学での6年間、そして大学院へと続く学びは、  
薬剤師としての高い実践力を育み、あなたが持つ可能性を最大限に高めます。



チーム医療が推進されている昨今、本学ではこの体制を肌で感じてもらうために「多職種連携教育(IPE)」を実施。他学部との合同講義などを通して、チーム医療を理解します。

## 医療現場で活きる連携力

IPE合同講義は薬学部と歯学部と短期大学部を対象に実施。患者の状況に対応した質の高い医療を実現するために、互いの専門性を活かす治療方針を学生主体で立案します。専門分野の壁を越え、患者と真剣に向き合う一体感が持てる講義です。

鈴木 一吉 先生  
歯科医師 / 愛知学院大学歯学部  
歯内治療学講座 講師

専門職種間の架け橋に。

歯科でも薬を出しますが、全身疾患を持つ方への処方、副作用もあって慎重になります。そんなとき頼りになるのが薬剤師。専門職種間の薬に関する情報共有・連携の中心的な役割を担ってくれます。

## IPE授業風景



CONNECT

TO STUDY

GO OVER



社会に求められる実践力を備えた薬剤師を育むため、本学では他に先駆けて模擬調剤室や注射調剤設備、DI室等を備えた薬剤実習センターを設置。加えて先端研究に触れる機会を増やすことで、大学院にもつながる包括的な薬学知識と、疾病に関する高度な専門知識の習得を目指します。

## 充実施設で培う実践力

### 無菌製剤室

本学では臨床現場を想定した薬剤実習センター内に無菌調剤室を設置しており、最新機器を活用した実習・講義を実施しています。無菌調剤とは、一定の無菌環境を保った無菌調剤室において、患者さんに使用される輸液や注射薬、抗がん剤等の調剤を行うものです。昨今では病院内の業務でももちろんのこと、自宅での治療を続ける「在宅医療」が推進され、地域の調剤薬局においても、その環境整備が急がれています。



### GRADUATE VOICE



久網 僚先生  
博士(薬学) / 愛知学院大学  
薬学部微生物学講座 助教  
【愛知県】  
私立愛知高校出身

突き詰めた分野があった。  
だから、私は大学院に進みました。

在学中に、疾病の原因となる微生物に対する興味から研究をはじめ、薬学研究の面白さ、奥深さに気付きました。そして、芽生えた探究心や好奇心から大学院への進学を決意。突き詰めた分野に特化した研究活動に打ち込みました。このときの経験ややりがい、教員になった今でも私の大きな財産であり、学生にも伝えたい学芸のひとひです。

### STUDENT VOICE



村上 茉莉奈さん  
韓国(留学) / 愛知学院大学  
薬学部微生物学講座 参加学生  
【静岡県】  
浜松市立高等学校出身

実際に、異国の地を踏まないで  
分らない学びがあります。

私は韓国とアメリカの薬学研修に参加しました。韓国では韓方専門薬剤師の高い専門性に背筋が伸び、アメリカでは進化した医療のオートメーション化に驚きました。最初は、異文化への好奇心からの参加でしたが、現地でしか体験できない雰囲気や肌で感じ、とても有意義な時間だったと思います。海外の友達との出会いは一生の宝物です！

## アメリカ海外研修



## 越える

### 韓国海外研修



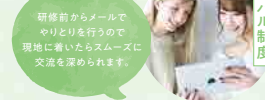
## 国際力を養う 海外薬学研修

海外研修を通して、日本とは異なる医療制度や取り巻く環境の違いを知ることはもちろん、現地の文化や医療に対する姿勢を肌で感じることが海外研修でしか得ることができない貴重な経験です。国際的な薬剤師への大きな一歩になるでしょう。



引率教員の声  
愛知学院大学薬学部微生物学講座 講師

現地には通訳も担当引率教員が常同、言葉が不安でもご安心ください。



研修前々からメールでやり取りを行うので、現地に着いたらスムーズに交流を深められます。

### ペンパル制度

## 現場を感じる



## 医療現場に通じる環境

本学には医師を兼ねる教員が在籍しています。薬物治療学を担当する加藤宏一先生もそのひとり。病院内での臨床研究や、同意された患者への注射器の使用感調査など、実際の医療現場を肌で感じることができます。座学では得られない体験を通して、医療者としての薬剤師を育みます。

■ 加藤 宏一先生  
博士(医学) / 愛知学院大学 薬学部 薬物治療学講座 教授 /  
愛知医科大学薬学部腫瘍内科 客員教授  
腫瘍疾患の合併症や治療薬の研究、インスリン注射器の使用感と有用性の検討、糖尿病神経障害の治療薬の基礎研究などに取り組む。